

満足度の高い行政経営を目指して

まち育新聞

第7号

＜発行所＞
総務部まちづくりグループ
政策担当
美幌町字東2条北2丁目
TEL0152-73-1111

2000人を対象に

住民満足度調査を実施

町では平成18年度から10年間を計画期間とする「第5期美幌町総合計画」に基づき、様々な取組を行って来ましたが、これらの取組について、住民の皆さんがどの程度「満足」されているのか、またどの程度「重要」と考えているのかを把握するとともに、日頃まちづくりに対して感じていることなどご意見を伺い、住民の皆さんにとって「満足度の高い行政経営」を進めていくことを目的として住民満足度調査を実施しました。

この度、多くの住民の皆さんのご協力を頂き提出された回答を取りまとめましたのでその結果をお知らせいたします。なお、今回は速報値としてお知らせするもので、今後分析を進めその内容を随時お知らせしていきます。

今回は、調査の概要と速報値をお知らせします。

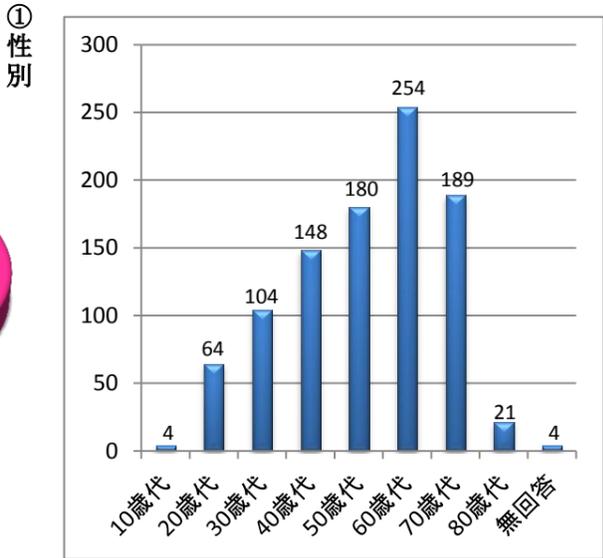
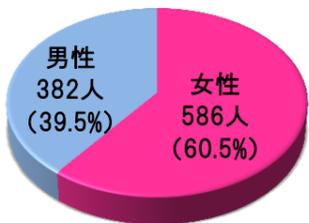


●調査方法

- ① 調査対象者 美幌町に居住する18歳以上の住民2000人を対象とする
- ② 抽出方法 平成25年10月2日現在の住民基本台帳から10年代別に無作為抽出
- ③ 調査方法 調査票を郵送により配布
- ④ 調査期間 平成25年10月4日～10月31日
- ⑤ 調査票 主な取組（主要施策）に対する「満足度」と「重要性」の評価をしていただき、段階的に評価をしていただき、

●回収結果

| | |
|------|-------|
| 回収率 | 48.4% |
| 回収総数 | 970件 |
| 配布総数 | 2000件 |



●回答者の属性

●重要度・満足度の結果

「重要度」

町の取組（主要施策）40項目のうち重要度が高い結果となったものは、「除雪の充実」「国保病院の充実」「消防・救急の充実」が上位3施策となっています。

また、重要度が低い結果となったものは、「国際交流の推進」「男女共同参画の促進」「地域間交流の推進」が下位3施策となっています。

「満足度」

満足度が高い結果となったものは、「消防・救急の充実」「上下水道の整備」「広報の充実」が上位3施策となっています。

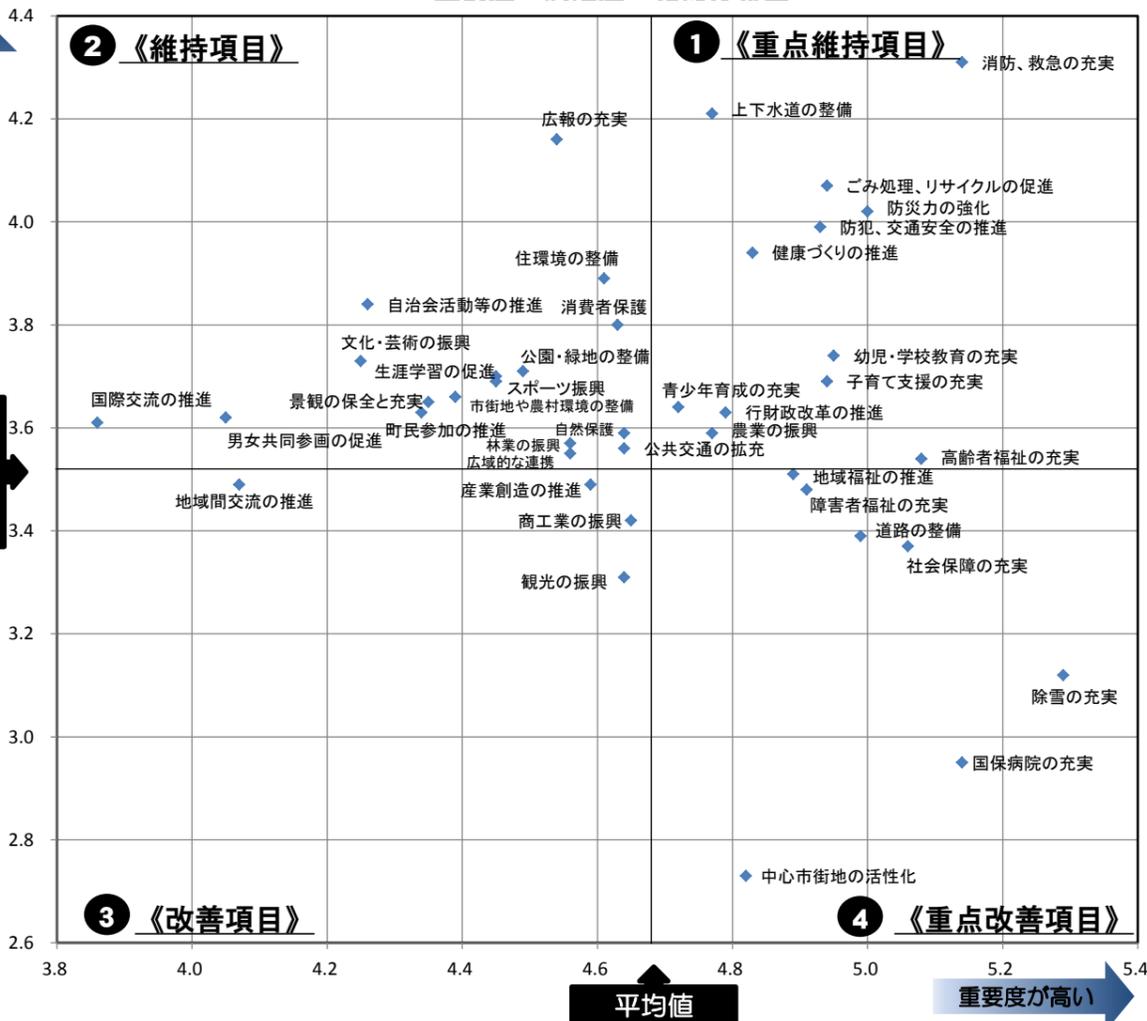
また、満足度が低い結果となったものは、「中心市街地の活性化」「国保病院の充実」「除雪の充実」が下位3施策となっています。

【総合結果】

重要度・満足度の数値から、今後重点的に取り組むべき代表的な施策としては、重要度が高く満足度が低い「除雪の充実」「国保病院の充実」、そして「社会保障の充実」という結果となりました。

| | 重要度 | | 満足度 | |
|----|--------------|------|---------------|------|
| | 取組項目 | ポイント | 取組項目 | ポイント |
| 上位 | 1 除雪の充実 | 5.29 | 消防・救急の充実 | 4.26 |
| | 2 国保病院の充実 | 5.14 | 上下水道の整備 | 4.16 |
| | 3 消防・救急の充実 | 5.14 | 広報の充実 | 4.11 |
| | 4 高齢者福祉の充実 | 5.08 | ごみ処理、リサイクルの促進 | 4.02 |
| | 5 社会保障の充実 | 5.06 | 防災力の強化 | 3.97 |
| | 6 防災力の強化 | 5.00 | 防犯、交通安全の推進 | 3.94 |
| 下位 | 35 町民参加の推進 | 4.34 | 道路の整備 | 3.34 |
| | 36 自治会活動等の推進 | 4.26 | 社会保障の充実 | 3.32 |
| | 37 文化・芸術の振興 | 4.25 | 観光の振興 | 3.26 |
| | 38 地域間交流の推進 | 4.07 | 除雪の充実 | 3.07 |
| | 39 男女共同参画の促進 | 4.05 | 国保病院の充実 | 2.90 |
| | 40 国際交流の推進 | 3.86 | 中心市街地の活性化 | 2.68 |

重要度・満足度 相対分布図



| | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|
| ② | 満足度 【高】 重要度 【低】 | ① | 満足度 【高】 重要度 【高】 |
| ③ | 満足度 【低】 重要度 【低】 | ④ | 満足度 【低】 重要度 【高】 |

《区分の考え方》

- ① 満足度（高） 重要度（高）
住民の満足度を維持しながら、より効率的な事務事業の執行が求められる施策
- ② 満足度（高） 重要度（低）
住民の重要度を踏まえた満足度の確保に向けて、事務事業の改善（費用対効果の見直しなど）が求められる施策
- ③ 満足度（低） 重要度（低）
住民の重要度、満足度を踏まえて、事務事業の充実や施策の見直し求められる施策
- ④ 満足度（低） 重要度（高）
住民の満足度を高めるため、重点的な取り組みが求められる施策

●重要度・満足度のクロス分析

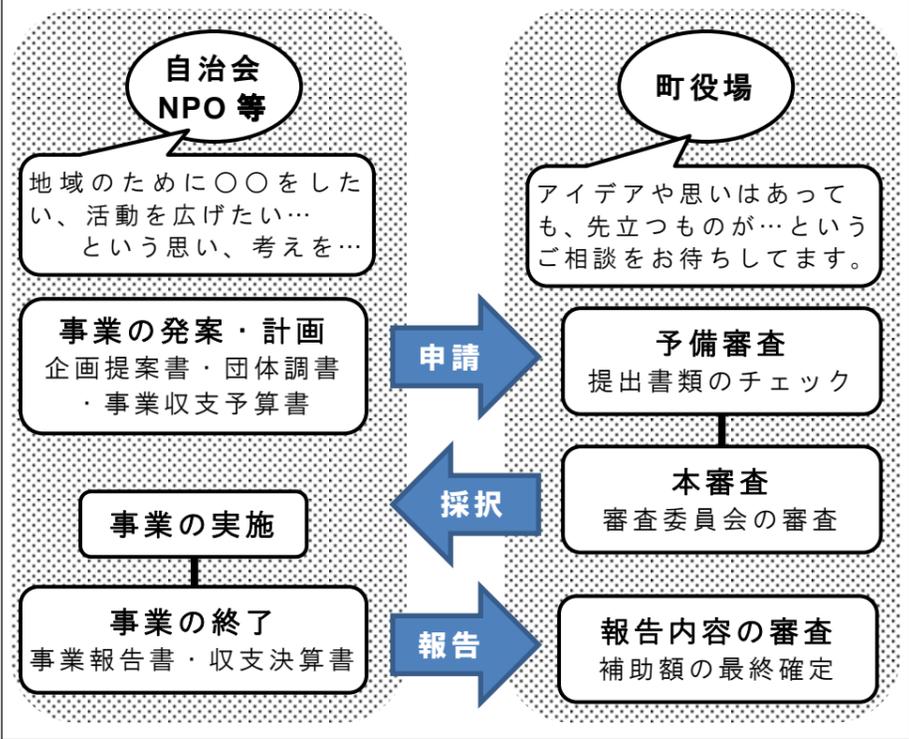
「重要度」を横軸、「満足度」を縦軸にとり、各主要施策ごとに集計した「満足度」と「重要度」の数値を落とし込みクロス分析を行い、住民意識の傾向と、今後重点的に取り組むべき項目について整理を行いました。

次号では、更に分析を進めた結果をお知らせします。



※詳しくは、本誌掲載のまち育新聞に掲載していただきます。町書に詳しく掲載していただく場合は、事前に町書に詳しく掲載していただく必要があります。

協働を推進する具体的な制度 まちづくり活動奨励事業



特集

協働によるまちづくり ～町は私たちがつくる～

今回は、第6号第1面で紹介した自治推進委員会の『提言』から、「協働」を特集します。

「協働」というのは、簡単に言うと、「まちづくり」という共通の目的のために、町民の皆さんと議会・役場が協力して活動することをいいます。ちなみに、「ここでいう「まちづくり」というのは、「安心して住む喜びが実感できる美幌町をつくること」であることが、自治基本条例をみるとわかります。

この「協働」というキーワードは、いま多くの自治体で耳にするようになりました。それは、限られた予算の中で町民の皆さんに、今まで以上に町民の皆さんが「まちづくり」を自分のこととして考え、一緒に取り組む必要があることが強調されるようになったからです。この考え方は新しいもの

のようにもみえますが、その精神は、実は古くからある民主主義の精神を現代風に焼き直したものである。とができません。「くにづくりに」を王様に独占させるのではなく、市民一人ひとりで担うのが民主主義の精神です。し、暮らしの中にある「まちづくり」が集まってできるのが「くにづくり」です。その根底には同じ精神があるといえます。「協働」は、町民の皆さんが自分のこととして「まちづくり」に参加し、協力していくことですが、もちろんこれは、行政が町民の皆さんに「まちづくり」を丸投げすることではありません。と民間とでそれぞれ担うべきところを明確にした上で、お互いに協力すべき分野では手を携えていきたいと思います。

「協働」を推進する具体的な制度としては、「まちづくり」に取り組み自治会や



このように可能性の広がる「協働」ですが、心に留めておくこともあります。それは、あくまでも「まちづくり」が目的であって、「協働」はその手段にすぎないということです。「協働事業」自体が自己目的化してしまわないよう、留意したいところです。

NPOなどの申請を受けて、対象となる事業に必要な助成金等を提供するものがあり、多くの自治体でも「まちづくり活動奨励事業」としてこの制度は導入されているのですが、今のところ、あまり利用されていない。と「まちづくり」の活動をしたいけど資金がネックで...という自治会やNPOなどの皆さんは、ぜひ一度、役場まちづくりグループ住民活動担当までご相談いただけたいと思います。ちなみに、他の自治体での利用例には、子育て支援教室やカルチャー・スクール、シニア活動のほか、フォトコンテストや講演会、町民の憩うコミュニティ・カフェなどの催しに利用される例もみられます。

「協働」の具体的な制度としては、ほかにもスマートフォンなどのITを活用して住民と行政がつながり、情報を共有しながら協働する仕組みを構築している先進自治体もあります(千葉市の「ガバメント2.0」など)。

今回は 美幌交通安全母の会の活動をご紹介します



交通安全は、家庭から



びほろボランティアの旅

交通安全母の会は、女性運動者の増加に伴い、悲惨な事故で交通遺児を増やさないなど、家庭の母として交通道徳を示し、自ら安全運転に取り組むことを目的に、昭和56年、美幌女性ドライバークラブとして発足しました。

以来、数々の活動を仲間と共に楽しく続け、一昨年、30周年を迎えました。「交通安全は家庭から」を合言葉に、年2回の道路清掃、新しく入学した児童に対する交通安全啓発、他町の母の会との交流、研修会を行って

を紹介し、交通安全を訴えています。また、6月25日は「無事故(625)の日」とし、全道各地母の会が旗の波、街頭啓発を行ってあります。美幌警察署、行政、交通安全協会各位の御指導をいただき、会員自ら事故に気をつけながら、交通事故ゼロに向けて、微力ながら活動を続けていきたいと思っております。

当会では、趣旨を御理解の上、交通事故のない安全、安心に暮らせる美幌町を目指し、御協力も歓迎いたしますので、ご加入をお待ちいたしております。

やくばのしごと

住民活動担当

まちづくりグループ住民活動担当は、自治会活動の支援を始め、地域の集会所の維持管理、ふるさと祭りを始めとする暴力団追放や防犯関係団体の事務に、また国際交流、公共交通(バス)の事務等、幅の広いしごとを担当しています。



自治会連合会と共に取組んでいる自治会加入の推進です。「なぜ自治会なのか?」自治会とは、地域のコミュニティ組織の代表的なもので、地域に住む人たちの親睦を図り、ささえあい、たすけあいなどの自主的な活動によって、暮らしやすいまちづくりを実践している団体です。

地域の繋がりが薄れてきていると言われている中、美幌町には67の自治会があり、それぞれの自治会では、盆踊りや運動会などのイベント、集会所を利用したサークル活動、防災訓練や高齢者の見守りなど、地域に密着した多種多様な活動が行われています。

皆さんが住んでいる地域には必ず自治会があります。加入にはお住まいの地域の自治会長さん又は班長さん等への連絡が必要になります。ご不明な場合は住民活動担当までお問い合わせください。

安心安全で暮らしやすい美幌町とするためにも、ぜひ自治会に加入しましょう!